

絵本部会通信 創刊号

2016年2月29日

春の足音が聞こえてきました。年度末いかがお過ごしでしょうか。

国際幼児教育学会の理事会で《絵本部会》の設立が承認されたのは2015年3月のことです。すでに、学会広報で、設立や韓国大邱での関連発表についてはお知らせしてありますが、ご参加を表明下さっている方々が、すべてご本務にお忙しく、また絵本研究を専門にしていなくても、絵本には深い関心があるという方が多数なのが実情です。

参加したいけれど、絵本部会の目的はなに？その内容は？活動はどんなことをするのか？参加する方法は？質問はどこにすればいいのかしら？

こうしたご質問にお答えするために絵本部会通信をお届けすることにいたします。

絵本部会設立の目的から述べます。

目的：現代は近代産業社会から情報通信技術の進展するポスト産業社会へと大変動期を迎えている。それに伴う生活文化の激変は、抗うかのように教育の原点の模索を促している。グローバル化に拍車がかかり、リテラシーに苦慮する先進国ばかりではなく、識字率向上を目指す国々でも、絵本の力に期待が寄せられ、存在感が増している。日本では、戦後、先達の努力で礎が築かれた絵本文化は、質量ともに充実してきている。こうした背景をもとに、乳幼児期の子どもと保育に関わる大人たちの双方向から、絵本を多様な視点で『読み合う』場を設けたい。

活動内容の例：子どもの息遣いが感じられる例を順不同にいくつか

○乳幼児の発達と絵本の関わりの実態調査や研究

哲学、文学、心理学、脳科学、教育経済学、芸術など、学際的なアプローチ

○保育と絵本の関わり

遊びへの発展。遊びの絵本化。劇遊び。子どもの非認知能力と絵本。など

○子どもの想像力と絵本また体験と絵本の関係

○子どもの視点に立った絵本の歴史 異国の絵本の受容実態の国際比較

洞窟から電子絵本まで。絵解き、『世界図絵』、グリムの一枚絵など

○現場の先生方や保育養成校の学生などとの交流

家庭、園、コミュニティとの連携 など

活動方法：主としてインターネット通信を活用する。

会員は絵本部会の学会発表テーマなどに意見参画し自由に参加する

学会の定期刊行物に活動を掲示する。集会は研究会や学会に連動して開催する。

部長： 宮地敏子 副部長：山岡テイ 山田千明

会員： 阿部和子 石川由美子 上田智子 木村敬子 森貞美 矢萩恭子 劉 郷英

2月末現在

会員募集中です。ご意見、お知恵を是非お寄せ下さい。現場の先生方のご参加を！！

連絡先：iaeceehon@gmail.com（※ 迷惑メール対策で「@」の部分で「O」にしてあります。「@」に直してお送りください。）